

### 1. 第三者評価報告概要表

作成日 平成21年5月10日

#### 【評価実施概要】

事業所番号	2872201468		
法人名	社会福祉法人グランはりま		
事業所名	グループホームはなたば		
所在地	兵庫県加古川市平岡町高幡1-1 (電話) 079-451-1525		
評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8-102号		
訪問調査日	平成21年3月25日	評価結果確定日	平成21年6月4日

#### 【情報提供票より】 (21年3月10日事業所記入)

##### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 9 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤 7人, 非常勤 2人, 常勤換算	人

##### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	3 階建ての	1 階部分

##### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	1,700 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

##### (4) 利用者の概要 (3月10日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護 1	1	要介護 2	7		
要介護 3	8	要介護 4	0		
要介護 5	2	要支援 2	0		
年齢	平均 84.2 歳	最低	59 歳	最高	98 歳

##### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	河合医院 はりま病院 のむら心療内科・ほじ歯科・小川病院
---------	------------------------------

#### 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

施設全体が明るくゆったりとしており、ゆとりと開放感が感じられる。近隣には住宅・スーパー・商店・コンビニエンスストア等があり利便性の高い地域に位置している。法人は介護老人福祉施設・通所介護・訪問介護等介護サービスを有し地域に根ざした総合的な支援を目指している。施設長・職員は「地域の中の一員としてのグループホーム」を基本に、近隣の方の訪問・夏祭り・秋祭への行事への積極的に参加し地域との交流に取り組み、地域に理解と協力が得られるよう働きかけを行なっている。また書道・新舞踊・フルート演奏などのボランティアの受入れを積極的行なっている。職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向の把握に努め、利用者職員が一緒にゆったりと安心して暮らせるよう暖かい家庭的なサービスが行われている。日々の過ごし方は基本的な1日の流れはあるが、ご利用者の希望・要望を十分把握し、一人ひとりの体調やその日の様子に配慮しながらご利用者一人ひとりのリズムに合わせた細やかな対応が行われている。

#### 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	評価結果を踏まえカンファレンスで検討し具体的な改善を行なっている。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)
重点項目	施設長をはじめ職員全員が評価の意義を理解したうえで、全体会議の中で取り上げ全員で記入している。自己評価の過程を通してサービスの振り返り、質の向上に取り組んでいる。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)
重点項目	運営推進会議は定期的にホームを利用してホームの行事・家族会と合わせて開催されている。行政の方や地域包括支援センターの職員の参加も依頼している。市町担当者にホームを理解し、協力関係を築けるよう積極的に働きかけ、努めている。運営推進会議の議事録を市に持参している。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
重点項目	月1回「はなたば便り」と共に金銭管理の状況・ご利用者一人ひとりの心身の状態・生活状況を担当者が記入して定期的に郵送で報告にしている。また、家族の面会時にも詳しく説明している。ご家族来所時に職員が声をかけし意見や不満などが話しやすい雰囲気づくりを心がけている。面会の少ない方に対しては電話で意見や要望などを聞きながら対応するようにしている。ホーム便りを郵送した後、意見や感想を頂き、サービスの質の向上に反映させるようにしている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
重点項目	地域の中の一員としてのグループホームを基本に、商店・近隣の薬局など地域に理解と協力が得られるよう働きかけを行なっている。自治会・老人会との交流があり、近隣の方の訪問・夏祭り・秋祭への行事に参加等さまざまな地域との交流に取り組んでいる。地域で開催される行事はもとよりグループホーム主催の行事へ地域の方々を招待し積極的な交流を実践している。書道・新舞踊・フルート演奏などのボランティアの受入れを積極的行なっている。

## 2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームのご利用者との実際の係わりの中から理念をつくり各ユニットに掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	実際のケア場面を通して職員間で理念について話し合い、実践と理念が繋がるよう取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の中の一員としてのグループホームを基本に、商店・近隣の薬局など地域に理解と協力が得られるよう働きかけを行なっている。自治会・老人会との交流があり、近隣の方の訪問・夏祭り・秋祭への行事に参加等さまざまな地域との交流に取り組んでいる。地域で開催される行事はもとよりグループホーム主催の行事へ地域の方々を招待し積極的な交流を実践している。書道・新舞踊・フルート演奏などのボランティアの受入れを積極的に行なっている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価結果を踏まえカンファレンスで検討し具体的な改善を行なっている。施設長をはじめ職員全員が評価の意義を理解したうえで、全体会議の中で取り上げ全員で記入している。自己評価の過程を通してサービスの振り返り、質の向上に取り組んでいる。</p>		
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は定期的にホームを利用してホームの行事・家族会と合わせて開催されている。行政の方や地域包括支援センターの職員の参加も依頼している。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町担当者にホームを理解し、協力関係を築けるよう積極的に働きかけに努めている。運営推進会議の議事録を市に持参している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回「はなたば便り」と共に金銭管理の状況・ご利用者一人ひとりの心身の状態・生活状況を担当者が記入して定期的に郵送で報告にしている。また、家族の面会時にも詳しく説明している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族来所時に職員が声かけをし意見や不満などが話しやすい雰囲気づくりを心がけている。面会の少ない方に対しては電話で意見や要望などを聞きながら対応するようにしている。ホーム便りを郵送した後、意見や感想を頂き、サービスの質の向上に反映させるようにしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の状況によって止む得ない場合は利用者のダメージを最小限にするため、引継ぎを丁寧に行い継続されたケアができるよう努力している。また、異動について便りを通してご家族にお知らせするようにしている。</p>		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間研修計画に沿った研修会を実施し技術や知識の向上に努めている。外部研修については、案内などを回覧し参加希望があれば費用負担するなど「学ぶ場」を積極的に支援している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会などを通して交流する機会を持つようにしている。</p>		
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>基本的な流れは、申し込み後見学して頂き、納得が得られれば入所の運びとなる。入所までにご自宅へ訪問し、ご家族で生活されている場所でお話を聞き早期に馴染みの関係を築けるよう努めている。不安の強い方については、当初ご家族と一緒にご利用いただき、一緒にお風呂に入って頂いたりしながら納得して入所ができるよう取り組んでいる。</p>		
<p><b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b></p>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は一人ひとりの生活歴を把握しており、人生の先輩から学ぶという姿勢を共有している。共に過ごす日々の中で教えていただく場面づくりに努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> <p><b>1.一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時のアセスメントで、ご利用者・ご家族の思いや意向を把握し、職員で共有し、日々の暮らしに反映できるように取組んでいる。入居後についてはご利用者一人ひとりが生きて来られた背景を大切にしながら、日々のかかわりの中で、言動やしぐさなどから思いを把握するように努力している。</p>		
<p><b>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を使用し、ご家族や関係者からの情報・要望等を基にカンファレンスを開き意見交換を行いながら個別の介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ご利用者の日常の様子を具体的に記録に残し、職員間で情報を共有しながら介護計画の見直しに活かしている。定期的にカンファレンスを行い見直しを行っている。急な変化がある場合はその都度現状に即した計画を作成している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援  利用者や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	近隣の独居高齢者の方々へ行事の参加を促し、認知症予防支援に努力している。個別の通院は職員が同行し、受診結果を家族へ報告するようにしている。また、医療連携体制を整えて利用者の健康管理を行っている。		
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者や家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医に受診できるよう支援している。緊急時は職員が付き添い受診し関係者が情報を共有できるよう報告している。受診が困難な場合は往診が受けられるよう体制を整えている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームの看取りについての指針を書面にして説明し同意を得ている。重度化した場合や終末期については、家族をはじめ訪問看護ステーションなどの関係者と繰り返し話し合いながら、情報を共有し対応するようにしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの誇りを尊重した言葉かけや対応をこころがけたケアに努めている。実際のケアを研修などで振り返りながら職員全員で取り組んでいる。個人情報の保護については、ファイルの持ち出し禁止など漏洩防止に努めている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な1日の流れはあるが、日常にご利用者の希望・要望を十分把握し、一人ひとりの体調やその日の様子に配慮しながらご利用者一人ひとりのリズムに合わせた細やかな対応をしている。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>ご利用者一人ひとりの力を活かしながら食事の盛り付けや準備を利用者と職員と一緒に、ご利用者が使い慣れた食器で職員と共に食事を楽しみながら、自然な流れで介助が行われている。行事食として回転寿司・パーティングなどを取り入れ食事が楽しみの時間となるよう配慮されている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>原則毎日入浴できるようになっている。利用者の体調に配慮しながら、個々に合わせた入浴支援が行われている。入浴できない場合は、清拭や足浴などを実施している。</p>		



第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や過去の経験等の情報を基に、ホームでの暮らしに活かし、力を発揮できるよう支援している。食事や行事、喫茶店、畑作業などの中から利用者の経験を発揮できる場面をつくり、一人ひとりの役割や楽しみごとにつながる支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	楽しみごとを可能なかぎり続けていただきたいという願いからホームに隣接している畑は、車椅子でも作業ができるよう工夫されており、天気の良い日は、日常的に外気に触れよう散歩している。受診は極力、車椅子や徒歩できるようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけることの弊害を理解している。安全を確保しながら、ベランダや玄関の鍵を開放し閉塞感を感じさせないケアに取り組んでいる。		
27	71	災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し年2回消防訓練を実施している。訓練には地域の消防団も参加し地域の協力体制の整備に取り組んでいる。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る</p>	嗜好調査により献立が作成されている。摂取量を観察しながら必要に応じて個別に支援を行っている。水分摂取量や食事摂取量は数字を記録し職員全員が情報を共有できるようにしている。毎食お茶ゼリーを付け脱水予防に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている</p>	施設全体が明るくゆったりとしており、ゆとりと開放感が感じられる。共有スペースにソファを置きご利用者が一人で過ごしたり気の合った同士で過ごしたりできるように配慮されている。玄関や居間には季節の花々が飾られゆったりとした雰囲気がある。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者 や家族と相談しながら、使い慣れたもの や好みのものを活かして、居心地よく過 ごせるような工夫をしている</p>	居室には使い慣れた家具や小物を利用者の使いやすいように置いている。ホームで作成した手作りの小物などを飾り居心地よく過ごせるようにしてる。		

は、重点項目。